

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 地域創生キャリアプランナー設置事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 高校総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8657)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 47,101 千円 (前年度予算額：47,051 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	47,051	2,074	0	0	0	0	190	0	44,787
要求額	47,101	2,104	0	0	0	0	235	0	44,762
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

就職希望者に対する就職支援に加え、大学等卒業後の地元就職を含めた進路情報、地域や地元企業に関する地域課題を高校生へ提供することで、地域産業や企業等の理解を深めるキャリア教育の充実を図り、将来、地域創生の担い手となる人材の育成を目指す。

(2) 事業内容

- ①就職希望者に対する地元企業を中心とした就職支援
- ②進学希望者に対する将来的な地元就職に関する支援
- ③キャリア教育や探究的な学習活動の支援
- ④域内の配置校が有する地元就職、キャリア教育等に関する情報の共有

(3) 県負担・補助率の考え方

地域創生キャリアプランナーの配置に係る経費（報酬、旅費）について、「補習等のための指導員等派遣事業」（国負担1/3）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	27,498	地域創生キャリアプランナー報酬
職員手当	10,309	地域創生キャリアプランナー期末勤勉手当
共済費	6,640	地域創生キャリアプランナー共済費
旅費（通勤手当）	1,411	地域創生キャリアプランナー通勤手当
業務旅費	863	地域創生キャリアプランナー業務旅費
消耗品費	380	事務用品
合計	47,101	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン
施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
1 3 学びと将来とをつなぐ、地域と連携したキャリア教育の充実
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 施策編
1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり (1) 未来を支える人
②地域の声を反映した産業教育の展開 キャリア教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域創生に資する高等学校改革の推進のために、生徒の学びと地元企業等をつなげるインターンシップの実施やキャリア教育の推進により、地元就職し地域を担う人材を育成するとともに、地域社会に対する理解を深め、将来、地域のために貢献できる人材の育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①卒業生の県内就職率	81.90%	80.95%	100.00%	100%	100%	80.95%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	地域創生キャリアプランナーを19校に配置（拠点校として5校を指定）し、オンラインによる研修会の実施、職場体験やインターンシップの受け入れ先の開拓及び学校と企業等のマッチング等、各校でのキャリア教育の支援。
令和3年度	地域創生キャリアプランナーを19校に配置（拠点校として5校を指定）し、オンラインによる研修会の実施、職場体験やインターンシップの受け入れ先の開拓及び学校と企業等のマッチング等、各校でのキャリア教育の支援。 指標① 目標： <u>100%</u> 実績： <u>85.83%</u> 達成率： <u>85.83</u> %
令和4年度	地域創生キャリアプランナーを19校に配置（拠点校として5校を指定）し、オンラインによる研修会の実施、職場体験やインターンシップの受け入れ先の開拓及び学校と企業等のマッチング等、各校でのキャリア教育の支援。 指標① 目標： <u>100%</u> 実績： <u>80.95%</u> 達成率： <u>80.95</u> %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	若者雇用を取り巻く地域の状況変化を鑑みて、各校において入学当初から教育活動の全体を通じて体系的・系統的なキャリア教育を実施するよう取組を進めるとともに、実施に当たっては地域と学校をよく知る外部人材の活用が求められているため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	キャリアプランナーからの指導により、地元企業への就職希望者が増加傾向にある学校や、企業訪問等で学校に対する企業の評価が高まり求人が増加したケースがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	キャリアプランナーは情報提供に留まらず、生徒への指導やキャリア教育に関わる講演、教員への研修等を行っている。また、就職、進学指導に留まらない生徒、保護者との進路相談、キャリアカウンセリングは、生徒の進路意識の向上につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 非設置校に対する支援の方法を検討し、進める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内企業からは人材不足の声が上がっており、地元企業への就職者を増加させることは全県的な課題である。そのため、設置校においては、企業情報の提供に努めるとともに、地域社会や地元就職の魅力を伝えていく。また、自己のキャリアと地域社会を関連付けたキャリア教育を実践する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	